

平成 24 年 11 月 12 日

広報資料

京都府立海洋高等学校
校 長 塩見 正典

海のスペシャリスト特別講義

「あのイルカはどこへ行った？」

～知られざるイルカの生態について～

9月20日、栗田湾に姿を見せた2頭のイルカ。1ヶ月間にわたって栗田湾に住み着き、カッターやボートを追いかけて海洋桟橋内に入ってくることもしばしばで、海洋生の間では『海（かい）くん 洋（よう）ちゃん』と名付けて人気者になっていました。

このイルカたちが鹿児島海からやってきた可能性が高いと判断をされた京都大学の研究者を招いてイルカの生態についての講義をいただき、最近姿を見せなくなった『海くん 洋ちゃん』の今に想いを馳せつつ、イルカの不思議に迫ります。

日時：11月15日（木） 午後4時～5時

場所：本校 視聴覚教室

**参加：栽培環境コース 2・3年生 33名
他聴講希望者**

講師：森阪 匡通 氏（京都大学野生動物研究センター 特定助教）

森阪先生は、京都大学野生動物研究センターの特定助教として、イルカの生態を研究されており、御蔵島や小笠原諸島の国内フィールドから、南アフリカや北西ハワイ諸島などの海外フィールドで活動されています。

特に、「なぜイルカは音を発しているのか」をテーマに、進化、発達、機能、メカニズムなど様々な角度から解明すべく研究に打ち込んでおられます。

また、9月20日頃より約1ヶ月あまりの間、栗田湾で見られた2頭のミナミハンドウイルカ（「カイちゃん」「ヨウちゃん」）の追跡調査もされており、その個体は鹿児島県長島町沖から800kmの長旅を経て栗田湾まで泳いできたことも突き止められました。



問い合わせ先

京都府立海洋高等学校
副校長 松下 茂男
電 話 0772-25-0331